

三年とうげ

起承転結 (きしょうてんけつ)

三年 組 番

名前

めあて

物語の組み立てを学ぼう。

『起承転結』

もともとは中国の古い言葉で、文章の組み立てを表す。

結 <small>けつ</small>	転 <small>てん</small>	承 <small>しょう</small>	起 <small>き</small>	
むすび	へんかする	きる できごとが起	はじめ	組み立て
おじいさんは三年とうげで何度も転んで、すっかり元気になり、幸せに長生きした。	トルトリが三年とうげで何度も転ぶと良いと教える。	おじいさんが三年とうげで転んで病気になってしまう。	三年とうげのせつめい	「三年とうげ」でのかんたんな内よう

ふりかえり

三年とうげ

三年とうげ

起・承
きしょう

三年

組

番

名前

めあて

三年とうげで転んだおじいさんの気持ちを考えよう

起・三年とうげのせつめい

①三年とうげの美しさについて書いてある所に線を引きましょう。(教科書)

↓美しさがつたわるように、音読してみましよう。

②三年とうげの言い伝えが分かる所に線を引きましょう。(教科書)

↓言いつたえをリズムよく、楽しく音読してみましよう。

三年とうげは、どんなとうげですか。

美しいながめだけど、転ぶと三年しか生きられないとうげ。

承・おじいさんの気持ち

おじいさんは

「三年とうげ

」で「転んで

」しまった。

おじいさんの気持ちが分かる所を書きぬきましよう。

おじいさんは真っ青になり、がたがふるえました。家にすっとなでいき、おばあさんにしがみつき、おいおいなきました。「ああ、どうしよう、どうしよう。わしのじゅみょうは、あと三年じゃ。三年しか生きられぬのじゃ。

おじいさんの気持ち

どうしよう、もう三年しか生きられない。

しぬのがこわくて悲しい。など。



おじいさんの気持ちをそうぞうして、顔をかこう。

ふりかえり

転・おじいさんの気持ち

三年 組 番

名前

めあて

おじいさんの気持ちの変化を読み取ろう。

○トルトリとおじいさんの会話から、おじいさんの気持ちをそうぞうしよう。

トルトリのていあん

三年とうげで、もう一度転ぶんだよ。

ばかな。わしに、もっと早く死ねと言うのか。

三年とうげでもう一回転んだらじゅみょうがなくなってしまふ。もっと早く死ねと言われていると思う、おこっている気持ち。など。



おじいさんのへんか

そうじゃないんだよ。一度転ぶと、三年生きるんだろ。二度転べば、六年、三度転べば九年、四度転べば十二年。このように、何度も転べば、うんと長生きできるはずだよ。

うん、なるほど、なるほど。



おじいさんの気持ちをそうぞうして、顔をかこう。

トルトリの言っていることになっとくしたぞ。わしの病気がなおるかもしれない。長生きできるかもしれない。三年とうげで転んでみよう。など。

ふりかえり

三年とうげ

結・おじいさんの気持ち

三年 組 番

名前

めあて

むすびのおじいさんの気持ちを読み取ろう。

○ふとんからはね起きたおじいさんは、どうしましたか。

三年とうげ

に行って

わざと（ひっくり返り、）転んだ。

○何度も転ぶおじいさんの気持ちが分かる文を、教科書から書きぬきましょう。

あんまりうれしくなったので、

けろけろけろっとした顔をして、

「もう、わしの病気はなおった。百年も二百年も、長生きができるわい。」

と、にこにこわらいました。

おじいさんの気持ち

病気がなおってうれしい。これからずっと長生き

するぞ。 など。

おじいさんの気持ちを
そうぞうして、顔
をかこう。

○三年とうげで歌っていたのはだれだと思いますか。

自由に考えさせる。

ふりかえり

